



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社  
コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山 大輔 TEL 03-5220-8950  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無: 有  
決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	20,210	11.9	2,537	71.2	2,354	1.2	1,931	△8.1
2024年3月期中間期	18,061	4.7	1,482	△43.2	2,327	△35.4	2,102	△33.1

(注)包括利益 2025年3月期中間期 3,701百万円(△26.3%) 2024年3月期中間期 5,021百万円(△2.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	35.39	—
2024年3月期中間期	38.54	—

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	84,360	75,289	89.2
2024年3月期	81,795	72,282	88.4

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 75,289百万円 2024年3月期 72,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.5	3,950	812.1	4,550	169.0	3,450	57.8	63.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

(2)中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、『添付資料』P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	56,814,093株	2024年3月期	56,814,093株
2025年3月期中間期	2,236,350株	2024年3月期	2,253,745株
2025年3月期中間期	54,567,619株	2024年3月期中間期	54,549,160株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年11月13日より当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 研究開発活動 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)の売上高は、国内医薬品の減少があったものの、ロイヤリティーやLAL事業における海外販売の増加により、前年同期と比べ11.9%増の20,210百万円となりました。

営業利益は、増収により71.2%増の2,537百万円となりましたが、中間期末にかけて円高となり為替差損を計上したことで増益幅が縮小し、経常利益は1.2%増の2,354百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、8.1%減の1,931百万円となりました。

### セグメント別の売上概況

当社は医薬品の販売部門を持たず、それぞれの製品領域で強みを持つ国内外の企業と提携し、販売を委託することで、経営資源を研究開発や製造へ集中するビジネスモデルを展開しています。

このような事業環境を踏まえ、当社から販売提携先への売上概況のほか、販売提携先から医療機関への販売状況を「医療機関納入本数」または「現地販売本数」として記載しています。

### <医薬品事業>

#### ・国内医薬品(5,402百万円、前年同期比15.6%減)

主に関節機能改善剤アルツ及び眼科手術補助剤オペガン類の減少により、国内医薬品は前年同期比で15.6%の減収となりました。

関節機能改善剤アルツについては、引き続き競合品からの切り替えが進み、医療機関納入本数は前年同期比で大幅に増加しました。一方で、第1四半期から引き続き、当社工場の増産体制整備に向けた設備メンテナンスにより出荷量の調整が行われており、前年同期比で当社売上高は減少しました。当該設備メンテナンスによる出荷量の調整は第3四半期まで継続する予定ですが、第4四半期には出荷量が回復し、計画通りの売上高となる見込みです。

眼科手術補助剤オペガン類については、高齢化による緩やかな市場の成長等に伴い、医療機関納入本数は増加しました。しかしながら、第1四半期と同じく、前年同期において競合品の限定出荷により当社製品の出荷が一時的に増加した反動で、当社売上高は減少しました。

また、腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアの当社売上高は前年同期比でほぼ前年並み、内視鏡用粘膜下注入材ムコアップの当社売上高は減少しました。

関節機能改善剤ジョイクルは、出荷タイミングにより前年同期比で売上高が減少しました。本剤は2021年6月1日に安全性速報(ブルーレター)を発出しており、引き続き販売提携先である小野薬品工業株式会社と連携のうえ、副作用報告等の情報収集や安全性に関する情報提供を行っています。

#### ・海外医薬品(4,757百万円、同8.9%増)

売上高比率の高い米国向け関節機能改善剤ジェル・ワン及びスパルツFXの増加により、海外医薬品は前年同期比で8.9%の増収となりました。

米国向けジェル・ワンについて、現地販売本数は減少しましたが、第1四半期に出荷が減少した反動により、当社売上高は前年同期比で増加しました。

米国向けスパルツFXについて、現地販売本数は前年同期並みとなりましたが、前年同期において出荷が一時的に減少していたため、当社売上高は増加しました。

中国向けアルツについて、第1四半期においては前期へ出荷を前倒しした影響により、前年同期比で出荷が大幅に減少していましたが、第2四半期では予定通り出荷が大幅に増加したことで、売上高は前年同期並みとなりました。

#### ・医薬品原体・医薬品受託製造(1,600百万円、同1.4%減)

海外子会社ダルトン ケミカル ラボラトリーズ インクの医薬品受託製造は増加、医薬品原体は減少したことで、売上高は1,600百万円となり、前年同期並みとなりました。

これらに加え、ロイヤリティー(2,588百万円、同270.2%増)の増加により、医薬品事業の売上高は14,347百万円(同9.6%増)となりました。

### <LAL事業>

売上高は5,863百万円(同18.0%増)となりました。海外子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インクにおける円安効果、グルカン測定体外診断用医薬品及び遺伝子組換えエンドトキシン測定用試薬パイロスマートネクストジェンの販売増に加え、国内販売も好調であったことにより、前年同期比で売上高は増収となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,565百万円増加の84,360百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ441百万円減少の9,070百万円となりました。これは主に未払金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,007百万円増加の75,289百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定及び親会社株主に帰属する中間純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創製を目指しています。

当社が保有する糖質科学に関する基盤技術を応用展開し、既存領域における新規開発テーマや新規疾患領域を含む革新的な研究テーマの創出に注力するとともに、各種アライアンスを推進することで、今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市の実現を図っていきます。

当中間連結会計期間における研究開発費の総額は3,243百万円で、対売上高比率（ロイヤリティー除く）は18.4%となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・ SI-6603 (腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国)

2024年3月にSI-6603に関する生物製剤承認申請 (BLA) を行い、同年5月にはBLAが米国食品医薬品局 (FDA) によって受理されました。現在、承認取得に向けた審査対応を進めています。

本剤は、コンドリアーゼを有効成分とし、椎間板内に直接注射する治療剤です。全身麻酔の必要がなく、手術療法と比較して身体的侵襲が小さいという特徴を有しています。1回の投与で腰椎椎間板ヘルニアの症状改善効果が期待できることから、米国において新たな治療選択肢の提供を目指します。

その他の研究開発活動については、重要な変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,439	16,882
受取手形	69	51
売掛金	8,172	7,356
有価証券	5,592	3,381
商品及び製品	3,201	3,902
仕掛品	3,120	3,602
原材料及び貯蔵品	3,025	3,217
その他	2,953	3,068
貸倒引当金	△27	△32
流動資産合計	41,546	41,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,221	21,786
減価償却累計額	△15,476	△15,888
建物及び構築物 (純額)	5,744	5,898
機械装置及び運搬具	24,624	25,740
減価償却累計額	△21,180	△22,072
機械装置及び運搬具 (純額)	3,444	3,667
土地	1,106	1,156
リース資産	147	150
減価償却累計額	△64	△75
リース資産 (純額)	82	75
建設仮勘定	3,728	5,096
その他	6,203	6,512
減価償却累計額	△5,091	△5,228
その他 (純額)	1,111	1,284
有形固定資産合計	15,219	17,179
無形固定資産		
のれん	2,107	2,205
その他	1,093	1,217
無形固定資産合計	3,200	3,422
投資その他の資産		
投資有価証券	18,790	19,223
退職給付に係る資産	1,768	1,812
その他	1,276	1,299
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	21,828	22,328
固定資産合計	40,248	42,930
資産合計	81,795	84,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,652	1,502
短期借入金	300	300
リース債務	35	35
未払金	2,851	2,434
未払法人税等	113	177
賞与引当金	676	754
環境対策引当金	124	116
その他	1,443	1,465
流動負債合計	7,198	6,786
固定負債		
リース債務	61	53
繰延税金負債	2,108	2,085
資産除去債務	37	37
その他	106	106
固定負債合計	2,313	2,284
負債合計	9,512	9,070
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	54,738	55,958
自己株式	△2,259	△2,242
株主資本合計	61,620	62,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,526	5,291
為替換算調整勘定	4,180	6,261
退職給付に係る調整累計額	954	878
その他の包括利益累計額合計	10,661	12,432
純資産合計	72,282	75,289
負債純資産合計	81,795	84,360

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
売上高	18,061	20,210
売上原価	8,869	9,488
売上総利益	9,192	10,721
販売費及び一般管理費		
人件費	1,543	1,760
賞与引当金繰入額	182	201
退職給付費用	50	48
研究開発費	3,410	3,243
その他	2,523	2,930
販売費及び一般管理費合計	7,709	8,184
営業利益	1,482	2,537
営業外収益		
受取利息	66	86
受取配当金	200	217
為替差益	582	—
その他	30	28
営業外収益合計	880	332
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	499
支払手数料	2	2
事業構造改善費用	29	—
その他	1	12
営業外費用合計	35	516
経常利益	2,327	2,354
税金等調整前中間純利益	2,327	2,354
法人税、住民税及び事業税	249	305
法人税等調整額	△24	117
法人税等合計	224	422
中間純利益	2,102	1,931
親会社株主に帰属する中間純利益	2,102	1,931



(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,102	1,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,346	△234
繰延ヘッジ損益	14	—
為替換算調整勘定	1,605	2,081
退職給付に係る調整額	△46	△75
その他の包括利益合計	2,919	1,770
中間包括利益	5,021	3,701
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,021	3,701
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
国内医薬品	6,402	—	6,402	—	6,402
海外医薬品	4,367	—	4,367	—	4,367
医薬品原体・医薬品受託製造	1,622	—	1,622	—	1,622
ロイヤリティ	699	—	699	—	699
L A L	—	4,970	4,970	—	4,970
顧客との契約から生じる収益	13,091	4,970	18,061	—	18,061
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,091	4,970	18,061	—	18,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,091	4,970	18,061	—	18,061
セグメント利益	1,062	420	1,482	—	1,482

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
国内医薬品	5,402	—	5,402	—	5,402
海外医薬品	4,757	—	4,757	—	4,757
医薬品原体・医薬品受託製造	1,600	—	1,600	—	1,600
ロイヤリティー	2,588	—	2,588	—	2,588
L A L	—	5,863	5,863	—	5,863
顧客との契約から生じる収益	14,347	5,863	20,210	—	20,210
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,347	5,863	20,210	—	20,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,347	5,863	20,210	—	20,210
セグメント利益	2,056	481	2,537	—	2,537

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。